

内閣総理大臣 菅 義偉 様

東京電力福島第一原子力発電所の
トリチウム汚染水の海洋放出・大気放出を行わないことを求める要請書

『原発処理水 海洋放出「近日中に判断」』との新聞報道に接し驚愕しました。報道は、事故を起こした東京電力福島第一原発の敷地内にたまり続ける高濃度のトリチウムと60種以上の放射性核種を含む大量の汚染水（トリチウム汚染水＝多核種除去設備（ALPS）処理水）の処分に関し、菅首相は記者団に「近日中に判断したい」と述べ、政府は4月13日にも関係閣僚会議を開く方向で調整しているという内容でした。

当会は、日本政府が起こした国策としての戦争の結果、親が広島・長崎でアメリカが投下した原子爆弾に被爆した被爆者を親に持ち、親が被爆した後に、生を授かった子ども、被爆二世の団体に構成する会です。そして、被爆二世は親である被爆者が放射線の影響に苦しむ姿を見てきましたし、また自らも放射線の遺伝的影響を否定できない存在として、多くの被爆二世が過去・現在の健康被害に苦しみ、そして将来への健康不安に怯えています。

国策による福島第一原発の事故によって、多くの被ばく者が生み出され、今も「公衆の被ばく限度（年間1mSv）」を超える被ばくを強いられている人たちがいます。私たちは、原爆による核の被害者として、これ以上ヒバクシャ、放射線による被ばく者を生み出すことを容認できません。

日本政府や東京電力は、国策で進めた原発で重大事故を起こした上に、大量の汚染水を発生させた責任を果たすべきです。福島のみならず全国の、そして世界の人々に、さらなる放射能汚染と被ばくを強いる「海洋放出」に反対する立場から、2020年10月22日に続き、改めて以下のことを要請します。

東京電力福島第一原子力発電所のトリチウム汚染水（ALPS処理水）の海洋放出及び大気放出を行わず、日本政府及び東京電力が責任もって管理すること。

2021年 4月 9日

全国被爆二世団体連絡協議会

会長 崎山 昇（公印省略）

連絡先 mail : nobo-may@asahi.email.ne.jp

事務局住所：〒732-0052 広島市東区光町 2-8-32 エコード広島 3F

経済産業大臣 梶山 弘志 様

東京電力福島第一原子力発電所の
トリチウム汚染水の海洋放出・大気放出を行わないことを求める要請書

『原発処理水 海洋放出「近日中に判断」』との新聞報道に接し驚愕しました。報道は、事故を起こした東京電力福島第一原発の敷地内にたまり続ける高濃度のトリチウムと60種以上の放射性核種を含む大量の汚染水（トリチウム汚染水＝多核種除去設備（ALPS）処理水）の処分に関し、菅首相は記者団に「近日中に判断したい」と述べ、政府は4月13日にも関係閣僚会議を開く方向で調整しているという内容でした。

当会は、日本政府が起こした国策としての戦争の結果、親が広島・長崎でアメリカが投下した原子爆弾に被爆した被爆者を親に持ち、親が被爆した後に、生を授かった子ども、被爆二世の団体に構成する会です。そして、被爆二世は親である被爆者が放射線の影響に苦しむ姿を見てきましたし、また自らも放射線の遺伝的影響を否定できない存在として、多くの被爆二世が過去・現在の健康被害に苦しみ、そして将来への健康不安に怯えています。

国策による福島第一原発の事故によって、多くの被ばく者が生み出され、今も「公衆の被ばく限度（年間1mSv）」を超える被ばくを強いられている人たちがいます。私たちは、原爆による核の被害者として、これ以上ヒバクシャ、放射線による被ばく者を生み出すことを容認できません。

日本政府や東京電力は、国策で進めた原発で重大事故を起こした上に、大量の汚染水を発生させた責任を果たすべきです。福島のみならず全国の、そして世界の人々に、さらなる放射能汚染と被ばくを強いる「海洋放出」に反対する立場から、2020年10月22日に続き、改めて以下のことを要請します。

東京電力福島第一原子力発電所のトリチウム汚染水（ALPS処理水）の海洋放出及び大気放出を行わず、日本政府及び東京電力が責任もって管理すること。

2021年 4月 9日

全国被爆二世団体連絡協議会

会長 崎山 昇（公印省略）

連絡先 mail : nobo-may@asahi.email.ne.jp

事務局住所：〒732-0052 広島市東区光町 2-8-32 エコード広島 3F

復興大臣 平沢 勝栄 様

東京電力福島第一原子力発電所の
トリチウム汚染水の海洋放出・大気放出を行わないことを求める要請書

『原発処理水 海洋放出「近日中に判断」』との新聞報道に接し驚愕しました。報道は、事故を起こした東京電力福島第一原発の敷地内にたまり続ける高濃度のトリチウムと60種以上の放射性核種を含む大量の汚染水（トリチウム汚染水＝多核種除去設備（ALPS）処理水）の処分に関し、菅首相は記者団に「近日中に判断したい」と述べ、政府は4月13日にも関係閣僚会議を開く方向で調整しているという内容でした。

当会は、日本政府が起こした国策としての戦争の結果、親が広島・長崎でアメリカが投下した原子爆弾に被爆した被爆者を親に持ち、親が被爆した後に、生を授かった子ども、被爆二世の団体に構成する会です。そして、被爆二世は親である被爆者が放射線の影響に苦しむ姿を見てきましたし、また自らも放射線の遺伝的影響を否定できない存在として、多くの被爆二世が過去・現在の健康被害に苦しみ、そして将来への健康不安に怯えています。

国策による福島第一原発の事故によって、多くの被ばく者が生み出され、今も「公衆の被ばく限度（年間1mSv）」を超える被ばくを強いられている人たちがいます。私たちは、原爆による核の被害者として、これ以上ヒバクシャ、放射線による被ばく者を生み出すことを容認できません。

日本政府や東京電力は、国策で進めた原発で重大事故を起こした上に、大量の汚染水を発生させた責任を果たすべきです。福島のみならず全国の、そして世界の人々に、さらなる放射能汚染と被ばくを強いる「海洋放出」に反対する立場から、2020年10月22日に続き、改めて以下のことを要請します。

東京電力福島第一原子力発電所のトリチウム汚染水（ALPS処理水）の海洋放出及び大気放出を行わず、日本政府及び東京電力が責任もって管理すること。

2021年 4月 9日

全国被爆二世団体連絡協議会

会長 崎山 昇（公印省略）

連絡先 mail : nobo-may@asahi.email.ne.jp

事務局住所：〒732-0052 広島市東区光町 2-8-32 エコード広島 3F

外務大臣 茂木 敏充 様

東京電力福島第一原子力発電所の
トリチウム汚染水の海洋放出・大気放出を行わないことを求める要請書

『原発処理水 海洋放出「近日中に判断」』との新聞報道に接し驚愕しました。報道は、事故を起こした東京電力福島第一原発の敷地内にたまり続ける高濃度のトリチウムと60種以上の放射性核種を含む大量の汚染水（トリチウム汚染水＝多核種除去設備（ALPS）処理水）の処分に関し、菅首相は記者団に「近日中に判断したい」と述べ、政府は4月13日にも関係閣僚会議を開く方向で調整しているという内容でした。

当会は、日本政府が起こした国策としての戦争の結果、親が広島・長崎でアメリカが投下した原子爆弾に被爆した被爆者を親に持ち、親が被爆した後に、生を授かった子ども、被爆二世の団体に構成する会です。そして、被爆二世は親である被爆者が放射線の影響に苦しむ姿を見てきましたし、また自らも放射線の遺伝的影響を否定できない存在として、多くの被爆二世が過去・現在の健康被害に苦しみ、そして将来への健康不安に怯えています。

国策による福島第一原発の事故によって、多くの被ばく者が生み出され、今も「公衆の被ばく限度（年間1mSv）」を超える被ばくを強いられている人たちがいます。私たちは、原爆による核の被害者として、これ以上ヒバクシャ、放射線による被ばく者を生み出すことを容認できません。

日本政府や東京電力は、国策で進めた原発で重大事故を起こした上に、大量の汚染水を発生させた責任を果たすべきです。福島のみならず全国の、そして世界の人々に、さらなる放射能汚染と被ばくを強いる「海洋放出」に反対する立場から、2020年10月22日に続き、改めて以下のことを要請します。

東京電力福島第一原子力発電所のトリチウム汚染水（ALPS処理水）の海洋放出及び大気放出を行わず、日本政府及び東京電力が責任もって管理すること。

2021年 4月 9日

全国被爆二世団体連絡協議会

会長 崎山 昇（公印省略）

連絡先 mail : nobo-may@asahi.email.ne.jp

事務局住所：〒732-0052 広島市東区光町 2-8-32 エコード広島 3F

農林水産大臣 野上 浩太郎 様

東京電力福島第一原子力発電所の
トリチウム汚染水の海洋放出・大気放出を行わないことを求める要請書

『原発処理水 海洋放出「近日中に判断」』との新聞報道に接し驚愕しました。報道は、事故を起こした東京電力福島第一原発の敷地内にたまり続ける高濃度のトリチウムと60種以上の放射性核種を含む大量の汚染水（トリチウム汚染水＝多核種除去設備（ALPS）処理水）の処分に関し、菅首相は記者団に「近日中に判断したい」と述べ、政府は4月13日にも関係閣僚会議を開く方向で調整しているという内容でした。

当会は、日本政府が起こした国策としての戦争の結果、親が広島・長崎でアメリカが投下した原子爆弾に被爆した被爆者を親に持ち、親が被爆した後に、生を授かった子ども、被爆二世の団体に構成する会です。そして、被爆二世は親である被爆者が放射線の影響に苦しむ姿を見てきましたし、また自らも放射線の遺伝的影響を否定できない存在として、多くの被爆二世が過去・現在の健康被害に苦しみ、そして将来への健康不安に怯えています。

国策による福島第一原発の事故によって、多くの被ばく者が生み出され、今も「公衆の被ばく限度（年間1mSv）」を超える被ばくを強いられている人たちがいます。私たちは、原爆による核の被害者として、これ以上ヒバクシャ、放射線による被ばく者を生み出すことを容認できません。

日本政府や東京電力は、国策で進めた原発で重大事故を起こした上に、大量の汚染水を発生させた責任を果たすべきです。福島のみならず全国の、そして世界の人々に、さらなる放射能汚染と被ばくを強いる「海洋放出」に反対する立場から、2020年10月22日に続き、改めて以下のことを要請します。

東京電力福島第一原子力発電所のトリチウム汚染水（ALPS処理水）の海洋放出及び大気放出を行わず、日本政府及び東京電力が責任をもって管理すること。

2021年 4月 9日

全国被爆二世団体連絡協議会

会長 崎山 昇（公印省略）

連絡先 mail : nobo-may@asahi.email.ne.jp

事務局住所：〒732-0052 広島市東区光町 2-8-32 エコード広島 3F

環境大臣 小泉 進次郎 様

東京電力福島第一原子力発電所の
トリチウム汚染水の海洋放出・大気放出を行わないことを求める要請書

『原発処理水 海洋放出「近日中に判断」』との新聞報道に接し驚愕しました。報道は、事故を起こした東京電力福島第一原発の敷地内にたまり続ける高濃度のトリチウムと60種以上の放射性核種を含む大量の汚染水（トリチウム汚染水＝多核種除去設備（ALPS）処理水）の処分に関し、菅首相は記者団に「近日中に判断したい」と述べ、政府は4月13日にも関係閣僚会議を開く方向で調整しているという内容でした。

当会は、日本政府が起こした国策としての戦争の結果、親が広島・長崎でアメリカが投下した原子爆弾に被爆した被爆者を親に持ち、親が被爆した後に、生を授かった子ども、被爆二世の団体に構成する会です。そして、被爆二世は親である被爆者が放射線の影響に苦しむ姿を見てきましたし、また自らも放射線の遺伝的影響を否定できない存在として、多くの被爆二世が過去・現在の健康被害に苦しみ、そして将来への健康不安に怯えています。

国策による福島第一原発の事故によって、多くの被ばく者が生み出され、今も「公衆の被ばく限度（年間1mSv）」を超える被ばくを強いられている人たちがいます。私たちは、原爆による核の被害者として、これ以上ヒバクシャ、放射線による被ばく者を生み出すことを容認できません。

日本政府や東京電力は、国策で進めた原発で重大事故を起こした上に、大量の汚染水を発生させた責任を果たすべきです。福島のみならず全国の、そして世界の人々に、さらなる放射能汚染と被ばくを強いる「海洋放出」に反対する立場から、2020年10月22日に続き、改めて以下のことを要請します。

東京電力福島第一原子力発電所のトリチウム汚染水（ALPS処理水）の海洋放出及び大気放出を行わず、日本政府及び東京電力が責任もって管理すること。

2021年 4月 9日

全国被爆二世団体連絡協議会

会長 崎山 昇（公印省略）

連絡先 mail : nobo-may@asahi.email.ne.jp

事務局住所：〒732-0052 広島市東区光町 2-8-32 エコード広島 3F

内閣官房長官 加藤 勝信 様

東京電力福島第一原子力発電所の
トリチウム汚染水の海洋放出・大気放出を行わないことを求める要請書

『原発処理水 海洋放出「近日中に判断」』との新聞報道に接し驚愕しました。報道は、事故を起こした東京電力福島第一原発の敷地内にたまり続ける高濃度のトリチウムと60種以上の放射性核種を含む大量の汚染水（トリチウム汚染水＝多核種除去設備（ALPS）処理水）の処分に関し、菅首相は記者団に「近日中に判断したい」と述べ、政府は4月13日にも関係閣僚会議を開く方向で調整しているという内容でした。

当会は、日本政府が起こした国策としての戦争の結果、親が広島・長崎でアメリカが投下した原子爆弾に被爆した被爆者を親に持ち、親が被爆した後に、生を授かった子ども、被爆二世の団体に構成する会です。そして、被爆二世は親である被爆者が放射線の影響に苦しむ姿を見てきましたし、また自らも放射線の遺伝的影響を否定できない存在として、多くの被爆二世が過去・現在の健康被害に苦しみ、そして将来への健康不安に怯えています。

国策による福島第一原発の事故によって、多くの被ばく者が生み出され、今も「公衆の被ばく限度（年間1mSv）」を超える被ばくを強いられている人たちがいます。私たちは、原爆による核の被害者として、これ以上ヒバクシャ、放射線による被ばく者を生み出すことを容認できません。

日本政府や東京電力は、国策で進めた原発で重大事故を起こした上に、大量の汚染水を発生させた責任を果たすべきです。福島のみならず全国の、そして世界の人々に、さらなる放射能汚染と被ばくを強いる「海洋放出」に反対する立場から、2020年10月22日に続き、改めて以下のことを要請します。

東京電力福島第一原子力発電所のトリチウム汚染水（ALPS処理水）の海洋放出及び大気放出を行わず、日本政府及び東京電力が責任をもって管理すること。

2021年 4月 9日

全国被爆二世団体連絡協議会

会長 崎山 昇（公印省略）

連絡先 mail : nobo-may@asahi.email.ne.jp

事務局住所 : 〒732-0052 広島市東区光町 2-8-32 エコード広島 3F